

16科原安第76号  
平成16年7月20日

使用者（届出事業所除く）、販売業者、賃貸業者、廃棄業者 殿

文部科学省 科学技術・学術政策局  
原子力安全課 放射線規制室長  
石田 正美

### 放射性同位元素等に関する保管管理の徹底について

貴事業所におかれましては放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律に基づき、安全管理に努められていることと存じます。

放射性同位元素及び放射性同位元素によって汚染された物（以下「放射性同位元素等」という。）につきましては、同法に基づき適切に管理を行うこととされているところですが、平成15年度以降、管理区域外に放置されていた放射性同位元素等が発見されるという事例が相次いでおります。（別紙参照）

管理下でない放射性同位元素等は、放射線業務従事者だけでなく一般の方々に対しても無用の被ばくを与える結果となります。また、米国同時多発テロ以降、テロ攻撃の手段として放射性物質を使用する懸念があることから、国際的にも、国際原子力機関（IAEA）やサミット等の場において、国際的にも放射線源の安全管理の一層の必要性が求められているところです。

つきましては、管理下でない放射性同位元素が発生しないよう、貴事業所におかれましても、放射性同位元素等が適正に保管されているか改めて確認するとともに、併せて管理区域外の居室、実験室、倉庫等において長年放置されている放射性同位元素等がないかを点検して下さい。

点検は可及的速やかに行い、平成16年8月末までに完了して頂くようお願いいたします。

この点検の結果、放射性同位元素等の管理の不備が発見された場合は速やかにその旨を文部科学省に報告するとともに、安全上の措置を講じて下さい。

本件に関するお問い合わせ先  
原子力安全課放射線規制室総括係  
電話：03 - 6734 - 4043  
FAX：03 - 6734 - 4048

平成 15 年度以降の放射性同位元素等の管理区域外における発見事例について

| 発生年月         | 概要   |
|--------------|--|
| 平成 15 年 4 月  | <p>放射線取扱主任者が放射線源が放置されている可能性を聞き及び、調査を実施した。その結果、集積電子材料高電圧実験室の隅に、高圧電源装置に隠れ、人の立入は出来ない状態で、茶筒型の線源容器 8 個（容器内部にコバルト 60 針 11 本、ストロンチウム 90 板 2 枚）が、鉛ブロック、鉛板に囲まれた状態で発見された。</p> <p>鉛容器周辺の床に若干の汚染がみられた。</p> |
| 平成 15 年 7 月  | <p>大型機器室に設置されている故障中の冷凍庫内の物品を整理中、アイソトープ標識のあるアンプルが発見された。内容物を確認したところ炭素 14 のアンプル 4 本であった。</p> <p>冷凍庫内に若干の汚染がみられた。</p>  |
| 平成 15 年 11 月 | <p>物質応用化学実験室の荷物の整理中、スチール製のロッカーの最下段の奥に、アイソトープ標識のある鉛製の箱が発見された。発見された線源は 1 個で測定器（ガス泡沫密度計）に取り付けて使用するアメリシウム 241 の密封線源であった。</p> <p>周囲に汚染はみられなかった。</p>   |
| 平成 16 年 2 月  | <p>X 線撮影時に着用した個人被ばく線量計の測定結果に異常値が検出されたため、測定業者が病院内を調査した。その結果、院長控室の机の中に、ラジウムと記載された鉛容器があり、ラジウム線源の針 4 本が収められていた。</p> <p>周囲に汚染はみられなかった。</p>  |
| 平成 16 年 4 月  | <p>毒性学研究室の荷物の整理中、ドラフトチャンバー下の扉の中から、アイソトープ標識のある 7 個の金属缶（内容物はトリチウム、炭素 14、塩素 36、亜鉛 65）が発見された。</p> <p>周囲に汚染はみられなかった。</p>  |
| 平成 16 年 6 月  | <p>臨床研究棟研究室の使用者が、中に細いプラスチック管が多数入った " Hot " と記載のある空きビンを発見。放射性物質が含まれている可能性があることから、近くにあった廃液ビン 7 本を含め確認したところ、廃液ビン 4 本にトリチウムが含まれていた。</p> <p>周囲に汚染はみられなかった。</p>                                      |